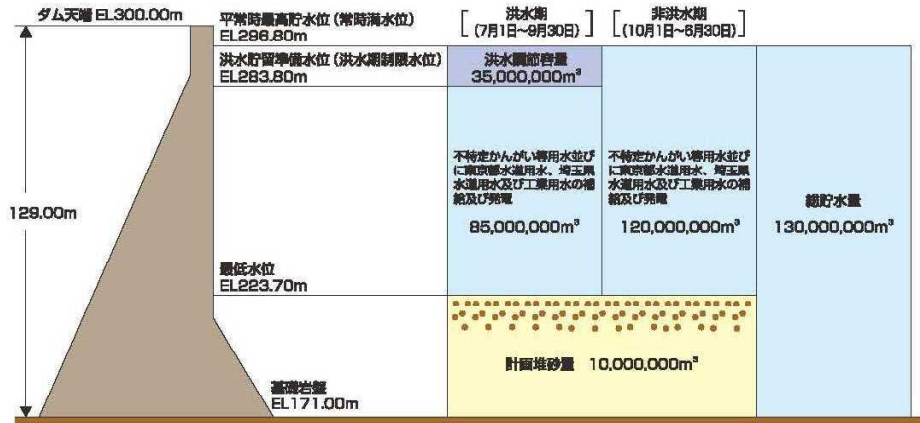


ダムの目的

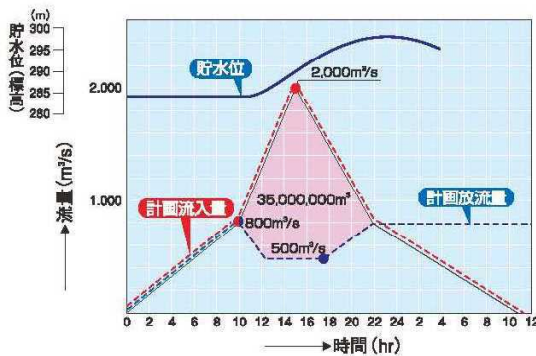
容量配分図

下久保ダムは、洪水調節（F）、不特定かんがい（N）、新規利水〔水道用水（W）、工業用水（I）、発電（P）〕を目的とする多目的ダムです。



洪水調節

下久保ダムの上流から流れ込む洪水 2,000m³/sのうち 1,500m³/sを下久保ダムに貯め込んで、残りの 500m³/sを下久保ダムの下流に放流します。



神流川は暴れ川

下久保ダムでは、昭和44年に管理を始めてからこれまでに500m³/sを超える洪水が13回ありました。いつもは穏やかな神流川ですが、およそ4年に1度は大きい洪水が発生し、暴れ川へと変貌します。下久保ダム管理開始以降で最大の洪水流量は、令和元年10月12日に関東地方を襲った台風第19号によって1,837m³/sを記録しています。

下久保ダム年間最大流入量

